

浦上川の治水対策のためダムを改築

長崎水害緊急ダム事業によって、整備を行う浦上ダムは浦上川の支川大井手川にある水道専用ダムを洪水調節機能を付加するために改築します。現在、計画・設計中であり今後工事を行う計画です。浦上ダム再開発の完成により、長崎水害緊急ダムは完了となります。

浦上ダムの再開発

浦上ダムの再開発にあたっては、既に貯水池周辺の宅地開発が進んでいることから、堤体のかさ上げ高は30cmに押さえることで、貯水池周辺への影響を最小限に抑えて、貯水池掘削により洪水調節容量の増加分を確保する計画としています。

また、新設する洪水吐きの構造も洪水調節容量を縮減するため特殊なものを計画しています。



(写真) 浦上ダム上空から



(写真) 浦上ダム下流から

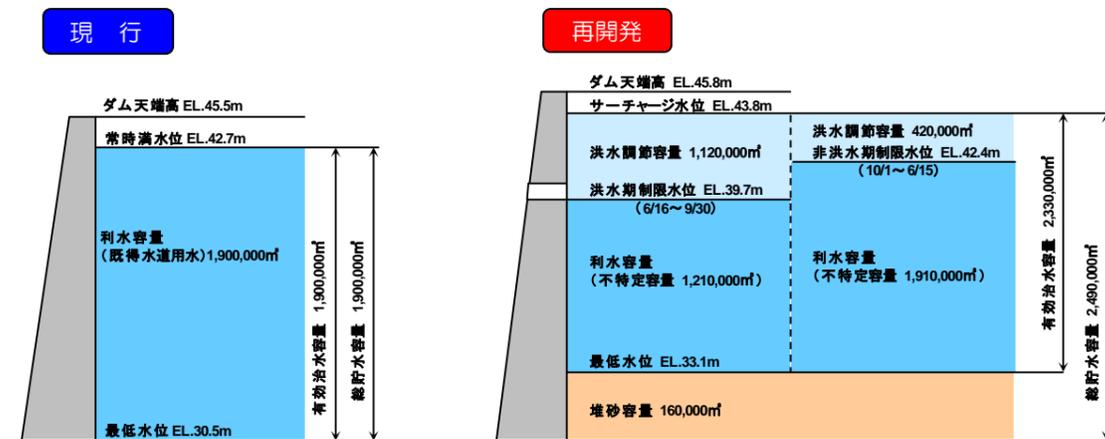
貯水池周辺が宅地開発されているのがわかります。



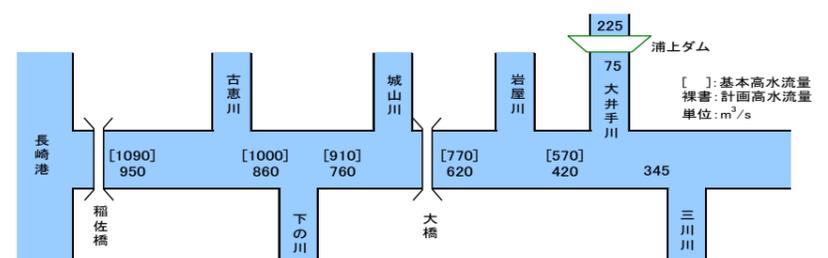
(左写真) 現在の浦上ダム、(右写真) 再開発後のイメージパース



再開発後堤体3Dイメージ
(上) 下流側、(下) 上流側



浦上ダム貯水池容量配分図



浦上川計画流量配分図

浦上ダムでは、最大流入量 225m³/s をカットし 75m³/s を下流に流します。